

# 町長室から

田上町長 佐野 恒雄

田上町の木、「さくら」の花が咲き誇る季節になりました。私はこの桜がたまらなく大好きです。日本人の心にこんなにも寄り添ってくれる花がほかにあるでしょうか。武士道にも似た散り際の儚さ、潔さ、そんなところが日本人の精神、心に強く訴えかけてくるのかもしれない。

四月はあちこちで入園式、入学式、そして入社式が行われます。辞令が交付され、新しい職場に移動される人も多い事と 있습니다。新しい出会いに胸を膨らませ、わくわくする一方で、未だ見ぬ景色に少なからず不安を覚える人もいることでしょう。

今年も辞令交付式で、新入職員と異動になった職員にこんな話をしました。人生には竹のように成長を積み上げながら順序よく訪れる「節（目）」と、好むと好まざるとに関わらずやってくる「転機」があります。その転機をどのように捉えるかで、その後の成長は大きく変わってきます。明るいい心で、前向きに人生の転機を活かす。心の持ちようひとつで人生は大きく変わります。

田上町も令和5年8月1日に町制施行50周年の大きな節目を迎えます。町の節目となる令和5年度は、まちの将来像である「誰もががずっと住み続けたいまち」この実現に向け、田上町に住む全ての方の笑顔があふれるまちを目指して、新たな気持ちで町政運営に取り組んでまいりたいと考えております。